

令和元年度第3回稲沢市男女共同参画審議会 会議録

【日時】 令和元年11月14日 木曜日 午後1時30分から午後2時40分

【場所】 稲沢市勤労福祉会館 第2会議室

【出席者】 稲沢市男女共同参画審議会委員（敬称略）

江草 普二 名古屋文理大学准教授

真下あさみ 愛知文教女子短期大学准教授

後藤 恵美 稲沢商工会議所女性会（会長）

牛嶋みゆき 稲沢連合婦人会（副会長）

佐久間春生 稲沢市ボランティア・市民活動連絡会（会長）

吉次 栄子 いなざわウィルネット（副会長）

大谷 淳子 公募委員

犬飼 祐香 公募委員

中島 雄太 公募委員

松崎 伯 公募委員

【稲沢市】 篠田 智徳 市長公室長

大口 伸 地域協働課長

鈴木 俊吾 地域協働課 主幹

前田 赳史 地域協働課 主査

【傍聴者】 1名

【会議概要】

1 あいさつ

[市長公室長あいさつ]

- ・出席のお礼
- ・本日の議題内容について、慎重審議を依頼する。

[会長あいさつ]

- ・オリンピックの女性の参加者の割合が48.8%になることは非常に感慨深く、これまでに至ったプロセスが、今後の男女共同参画のヒントになるのではと考えます。

2 議題

議題（1）平成30年度実施状況報告書（案）について

[事務局]

平成30年度実施状況報告書（案）について、以下の内容について説明。

- ・本報告書の見方について、施策名、担当課、施策内容、評価基準に基づく担当課の評価、実施状況に対する担当課のコメント及び男女共同参画審議会委員のコメント（主な質疑・意見）

[委員]

- ・一部の字句の表記として適切かどうかを確認したい。

[事務局]

- ・再度確認し適切な表記に改めます。

[委員]

- ・評価方法の中で、評価結果の根拠となるものの提示が必要であると考えます。

[会長]

・評価結果は審議会として重要視すべきものであるのか。評価が悪ければ是正するように意見するには資料が不足していると思います。

[事務局]

・現在の評価では、基本目標の達成のために実施する主な取り組み内容に対する評価のみとなっており、実際に基本目標が達成されたかどうかの評価がされておきませんので、評価項目については検討してまいりたいと考えております。

[委員]

・市民が報告書を見るうえで、重要なのは、何の事業を実施し、その結果今後どう対応していくのかの点であるので、その点をコメントにまとめていただきたいと考えます。

[事務局]

・次年度の調査報告書の提出にあたっては、委員の皆さんからの意見を付して取りまとめたいと考えます。

[会長]

・取りまとめられた資料の今後の手続きについて説明をお願いします。

[事務局]

・今後の事務としましては、本日御協議いただきました御意見等を取りまとめ、ホームページに掲載させていただき、担当課へ提言してまいります。

また、重点実施状況調査報告に対するコメントにつきましても、担当課へ提言させていただきます。

議題（２）男女共同参画意識に関するアンケート（案）について

[事務局]

男女共同参画意識に関するアンケート（案）について、以下の内容について説明。

- ・調査期間の変更
- ・調査項目の変更点
- ・前回の審議会での意見等に対する回答

(主な質疑・意見)

[委員]

・70歳代以上ではなく、70歳代、80歳以上としてはどうか。

[事務局]

・委員の御指摘のとおりとします。

[委員]

・家庭生活の中で家庭の収入源は誰かを追加すべきではないか。

[事務局]

・属性調査の中で、あなたの職業についての回答内容から、クロス集計により把握できると考えます。

[委員]

・若い方への回収率を上げるために、将来はWEB等の活用を検討していただきたい。

[会長]

・アンケートの今後の手続きについて説明をお願いします。

[事務局]

・今後の手続きについて、資料「男女共同参画プラン策定に係るスケジュール（案）」により説明。来年3月末にアンケート調査報告書を取りまとめ、公表したいと考えております。

3 その他

[事務局]

- ・男女共同参画参画推進セミナー開催の案内。
- ・本年度の審議会の日程はすべて終了しました。次回審議会の日程については、来年6月末に開催させていただく予定としております。

午後2時40分閉会

以下余白